

第1528号

発行日 毎月3回1の日 (1日、11日、21日)

2007年 (平成19年)

12 / 21

図 1 庁舎建設用地案内図



広

報

建築概要

在不 M 女	
	敷地
建 設 地	町田市森野二丁目939番 1
敷地面積	15 <i>8</i> 29㎡(道路整備後)
	本 庁 舎
建築面積	7 ,575 m²
延床面積	40 490㎡(うち駐車場部分4 450㎡)
階 数	地下 1 階、地上11階、塔屋 1 階
高さ	49 .13m
構造	(地上)鉄骨造 (地下)鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コン クリート造
駐車場	380台 (うち地下駐車場173台)
事業費	
建築工事費	約150億円

図2 新庁舎建設計画に関するこれまでの経過

現本庁舎開庁(1970年) 開庁時の市の人口約18万人(現在約41万人)

庁舎問題の発生

森野二丁目用地の購入(1999年11月)

市民参加による庁舎問題の検討

議会での森野二丁目用地への移転条例議決(2004年3月)

新庁舎建設基本構想策定(2004年6月)

市民参加による基本計画の検討

新庁舎建設基本計画策定(2005年5月)

設計者の選定 (2006年1月) 基本設計委託契約(2006年10月)

市民参加による基本設計の検討

庁舎建設等に関する 調査特別委員会(議会) 新庁舎建設推進本部

(行政)

ワークショップ (市民)

アドバイザー (学識経験者)

新庁舎建設基本設計完成(2007年11月)

実施設計へ

これまでも本紙でお知らせしてきましたとおり、市では、昨年10月に(株)槇 総合計画事務所と委託契約を締結し、新庁舎の基本設計を進めてきました。市民 参加によるワークショップでの検討や、議会、行政での検討を経て、11月に基本 設計が完成しましたので、その概要についてお知らせします(図面等設計の詳細 問企画調整課(新庁舎担当) 23709・0593 は、2・3面に掲載しています)。



新庁舎の模型 北側(町田駅前通り側)から見たところ

合いの場や、ワークショップ スペー スなどの市民参加型活 における市民と行政との話し 行政計画等の企画立案段階

環境への配慮

アトリウム (吹き抜け 空

す。また、 か所で行えるようになりま どに伴う手続を1階の総合窓 窓口を1・2階にまとめて配 口で行い、複数の手続きが一 し、誰にもわかりやすい庁 明書の発行や、 市民協働空間の確保 市民が利用する機会の多い 来庁者の多い相談 転入転出な のことにより、

業務変化にも対応しやすくな することにより、執務空間を ることで、将来の組織変更や 連続して確保します。 こうす 北側と南側の両側に集中配置 エレベーター、 トイレ等を

用地が購入 視野に入れて、森野二丁目に 学識経験者を交えた本格的な 1 9 9 入されると、市民や)年に、庁舎移転を れるようになりま

る空間配置 うになります。 将来変化に柔軟に対応でき

年に開 ことになり、行政や議会を中 足など、多くの問題を抱える い化・分散化、耐震性能の不 後、急激な人口増に伴う狭あ 心に様々な検討がされてきま 庁 しましたが、その

した。

は第4面をご覧下さい の完成に至りました (市民ワ 本設計の段階でも、市民参加 の大きな特徴といえます。基 てきたことは、町田市新庁舎 させながら設計を進め、今回 が、市民参加のもと進められ し、市民の意見・提案を反映 によるワークショッ プを開催 このように、新庁舎の計画 クショップの概要について

すくなります。 動の場を2階に確保し、 と行政の協働での活動がし 庁舎の耐震性能を通常建物 防災・災害復興拠点機能 ゃ

新庁舎の主な

を設けることで、自然光

特徴につい

て

災害対策本部室を始め、 基準の1・5倍の強度とし、 災害 ま す。 ま

民の拠り所となる開かれた庁

点としての役割に加え、市

新しい市庁舎では、行政の

の主な特徴は、次のとおりで 舎を目指しています。 新庁舎

利用しやすい窓口の配置

の機器や機能を整備し、防災 発生時の情報拠点となるため

災害復興拠点とします。こ

より迅速に対応できるよ

災害に対し

図2のとおりです。

基本設計完成に至る経緯は

となる「基本構想」(200 かたちで、新庁舎建設の指針

現在の本

- 庁舎は、1970

005年5月) が策定されま

4年6月)「基本計画」(2

した。

n までの経緯

ルギー 調効果を高めるなど、省エネ を採り入れ 景観にも配慮します。 効果の高い建物になり た、緑を多く配置 やすくしたり、空

移転が決まりました。 こうした検討経過の中で、

2004年3月議会で、出席 政、議会での検討と融合する を交えた検討が続けられ、行 より、森野二丁目への本庁舎 議員の3分の2以上の賛成に その後も市民や学識経験者

(2)

親しみのもてる新しい街並みの形成

口並木道に沿った公共空間

・町田駅前通りに沿って豊かな並木の歩道を計 画し、並木に面して低層部を配置することで、高 さを抑えた親しみのもてる街並みをつくります。

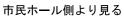
口公園庁舎

・街角広場から木漏れ日広場へと連続する公共 性豊かな領域を展開し、新庁舎低層部と一体 感をもたせ、気軽に立ち寄ることのできる公 園のような都市的空間をつくります。

□低層部と高層部からなる明快な構成

- 市民利用の多い低層部が街路に面し、高層部 が後に控えたわかりやすい構成とします。
- 開かれた議会とするために議場は低層部に配 置し、同時に議場に特徴的な表現をもたせます。











木漏れ日広場より見る

市民に開かれた、わかりやすい空間構成



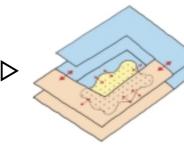
□街の公会広場

・低層部の中心に、一元化した窓口サービス を行うワンストップロビーを配置し、気軽 さと品格を兼ね備えた街の公会広場(フォー ラム)としての空間性を与えます。

□回遊性のある空間

エントランスホール、ワンストップロビー、 ラウンジなどの公共空間が小広場(木漏れ 日広場)、屋上庭園と連携しながら回遊性 を持って重層することで、様々な機能が認 識しやすく、市民相互の交流を活性化でき る空間を目指します。

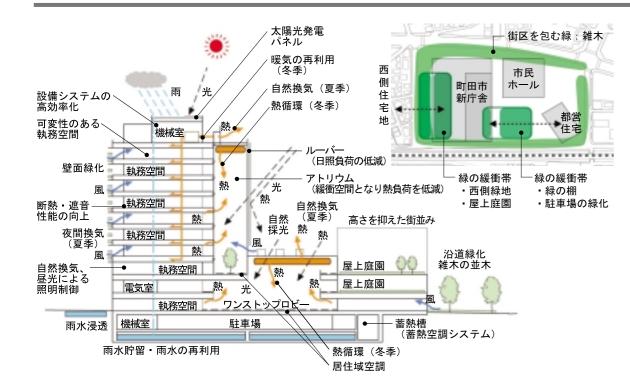




口巴型の配置

・ワンストップロビーを囲むように、市民が利用す る空間と窓口サービスを行う執務空間とを巴型に 配置し、一体感のある領域をつくります。

緑に包まれ、環境に配慮した庁舎



□環境性能の向上

- アトリウム(吹抜け空間)などを利用した自然換気や夜間換気による放熱、透明性の高い外装 による自然採光・照明制御、太陽光等の自然エネルギーの活用、雨水利用、設備機器の総合的 な運転管理によるコストの低減等を検討して省エネルギーを図ります。
- 緑化や日照調整のルーバーなどにより、熱負荷の軽減に配慮するとともに、それらを建築の表 情をつくる要素として積極的に活用します。

口立体的な緑

• 地上面の緑、屋上庭園、室内の植栽、壁面緑化 などを通して様々な場所で緑が楽しめる庁舎を 目指します。

□街区を包む緑

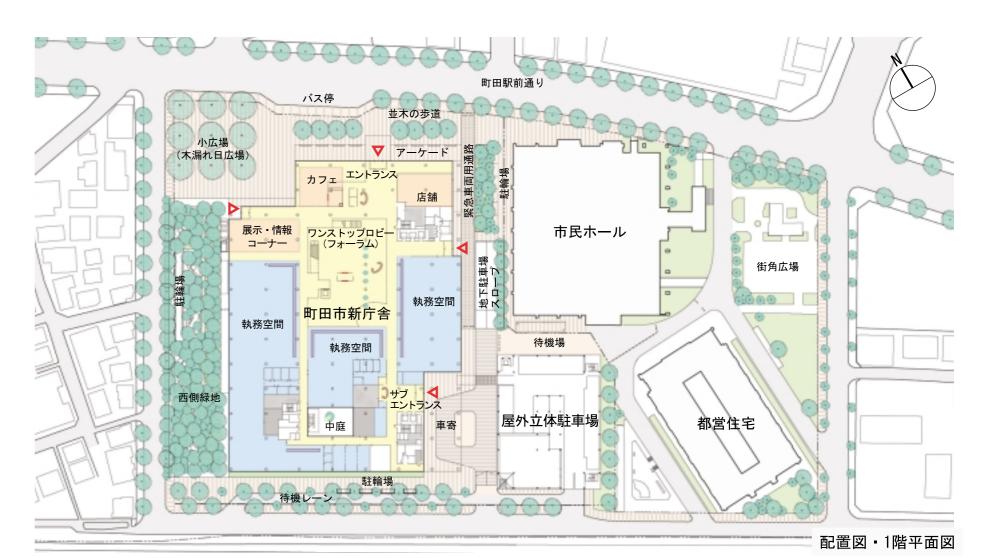
街区を雑木と照葉樹で包む計画とします。 西側に隣接する低層の住宅群に配慮し、奥行きを 持った雑木林をもうけ、屋上庭園とともに厚みの ある、緑豊かな環境をつくります。

□長寿命化

- 将来の変化に対し柔軟に対応できる計画とします。
- ・使用年数の長期化に配慮して計画を行い、ライフ サイクルコストの縮減を目指します。



南側より見る



市民協働空間 屋上庭園 レストラン 執務空間 執務空間 執務空間 機械室 機械室 会議室

執務空間

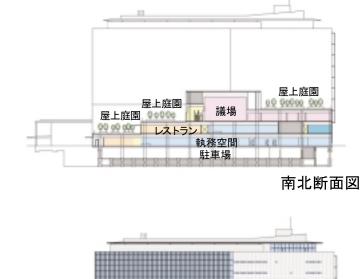
理事者

屋上庭園

執務諸室

4階平面図





西立面図

2階平面図 3階平面図





5~10階平面図



市民ワークショップ 意見・提案の基本設計への反映状況

市民ワークショップに寄せられた 意見・提案

1. 庁舎全体の空間構成について

- ・出来るだけ壁をなくし、ガラス張りの広々と明るい空間形成
- ・職員の働き易さにも配慮を。

2. 外構に関する緑の全体構成について

- ・「公園庁舎」を実現
- ・屋上庭園との回遊路が有機的になるよう花木を配置。 ・大樹のシンボルツリーを配置。
- ・ナチュラルガーデン、大きな雑木林、自然林と散策路のよう な名所的な庭園。
- ・皿季のある植栽
- ・照葉樹林帯の樹種を。高、中、低木を組み合わせる。 ・シンボルツリーを設ける(大きなケヤキがいい)。

3. 小広場について

- 小広場屋根は不用。
- ・若者達の発表の場として、エンターテインメントスクエア。

南側道路について

南側の並木を桜にして、電車からも、待機レーンからも、歩 いている人からも、楽しめるように。

5. 西側緩衝帯について

- ・西側広場に安全上の対策を(自転車置き場はかえって危ない、道路に子どもが飛び出さないように、など)
- ・樹種を周辺の自然林のつながりをお手本に選定。
- ・弱者に最大限配慮した遊歩道にする。

6. 駐輪場・駐車場について

・自転車置き場は、建物の近くに。 ・ハンディキャップ用の駐車場を地下ではなく地上レベルにも設置。

7. 周辺整備について

- ・歩道は車イスが2台通れるような障害物のない広いもの。
- ・障がい者が不自由しないタクシー乗り場。 ・人、自転車が通りやすいように考える。
- ・市民ホールなどを含めた区画環境の一体化を検討。

8. ワンストップロビー(市民広場)について

- ・ホール、ロビーのデザインに「公園庁舎」のコンセプトを。
- ・ベビーカーを設置するスペースが欲しい。・待合いに障がい者専用のスペースがあったらよい。
- ・多機能トイレは1か所に2つほしい。 ・高齢者の方や体調不良の方に休養できるベッド付き保健室の設置を。
- ・待合いにTVが欲しい。 ・相談ブースが欲しい。
- ・エスカレーターが欲しい。

9. 障がい者対応について

- ・障がい者用のトイレはベッドがおけるように。
- ・障がい者用トイレは、市民協働空間のある2階にも複数個欲しい。 ・音声案内の整備。 ・車いす対応型(デスク)を。

10. 子ども関係について

- 子ども専用スペース(キッズコーナー)が欲しい。
- ・授乳室、おむつかえベッド、ベンチを設置して欲しい。

11. コンシェルジュ (総合案内) について

・コンシェルジュは、メインエントランス付近にも欲しい。 ・コンシェルジュカウンターは、客の目線に合わせたスタンドカウ ンターデスク型とし、カウンターを桜型に配置。

12. 市民協働空間について

- ・フレキシビリティな間取りとする。
- ・夜間・休日の利用を想定した動線・アプローチにして欲しい。 ・団体用ロッカー、印刷機・コピー機、パソコン、紙折り機、裁断
- 機、キッズコーナー、ベビールーム、メールボックスの設置・ 協働空間の場所は、多数の訪問者の音声が響き渡る事もあり、騒音防止の装置が必要。

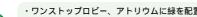
13. 市民利用空間について

- ・展示情報、市民協働、レストランを近接させる。
- 日、夜間も利用可能とする。 最上階眺望を重視した市民憩いの場
- ・市議会議員と交流できる空間、場所が必要

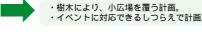
14. コスト・維持管理について

- ・極力自然光で執務できるように
- 1 F ロビー階、奥行きの深い事務空間も光庭を大々的に設け対処を。
- ・『スケルトン・インフィル』の徹底で長期間もつ建物を。 ・太陽熱等による動力を考える。
- ・雨水の再利用。雨水貯水。
- ・ヒートアイランドを緩和する。・環境配慮に十分な資金をあてる。

基本設計への反映状況



- ・ワンストップロビー、アトリウムに緑を配置。 ・部屋をまとめて配置し、間仕切りのない執務スペースとする とともに、自然光を採り入れた明るい空間を形成。 休憩室等、職員の福利厚生にも配慮。
- ・緑地からも屋上庭園の緑が見えるように、双方のつながりを 重視して花木を配置。
- 緑地は雑木 + 照葉樹で計画し、木立の中に散策路をつくる計
- ・花木や落葉樹等季節による変化を感じられる植栽を計画。
- 複数のシンボルツリーとする計画(樹種はケヤキを第一候



桜も含めた雑木で構成する並木を計画。



- ・自転車は西側道路からの出入りとし、人のみが緑地の遊歩道に入れるようにする。 道路への出口を最小限にし、バリカー等を配置し子どもの飛び出しを制御。
- 周囲との調和を図りながら樹種選定。
- ・バリアフリーに配慮した遊歩道。



4か所の入口近傍に駐輪場を設置。 ・屋外立体駐車場の庁舎側出入口近傍に設置。

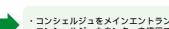


- 敷地周囲の歩道幅員は3mで計画。
- ・敷地内の北側、南側は歩道を拡幅した形態とする。 ・サブエントランス前に屋根付きの車寄せを設置。
- 街路樹、舗装等街区全体を考慮しながら計画
- 1階に救護室を設置。・モニターを設置。

 - · 障がい者用トイレは、市民協働空間のある2階にも複数個設置。 音声誘導案内も設置。 ・ローカウンターを基本とする。



・2階市民協働スペース、子ども生活部にキッズコーナーを配置。





- 休日、夜間も利用できるよう計画。
- ・市民活動に必要な備品類を設置する計画。
- ・天井、壁面で吸音、遮音性能を確保。



- 2階に近接して配置。
- ・低層部の市民利用スペースは土、日、時間外利用可能なセキュリティー区画として計画。 ・展望スペースを設置。
- 3階ラウンジの使用を想定。
- - 雨水を植栽の散水に利用。雨水貯水を計画。
 - ・壁面・屋上緑化、敷地内の緑化。 ・環境配慮を重視した建物とする。

る予定です。 * る予定です。 * 2 間 開 0 は開始する。日本年度には 解 引 9 事 始 うき続 年の U ま度発 1 は、新庁舎での業務 き市民の皆さんのご る予定です。 から新庁舎の工事を 末を目途に完成させ す。その後、 設計に着手し、20 間を経て、201 準備を行い、20 力をお願いいたし また、 基本設計 合わせて 約3年

■■新庁舎建設基本設 ■■市民ワークショップ

たくさんのご提案ありがとうございました



石阪市長、設計者模文彦氏と参加者のみなさん

映催に

市

民 ワ

の Ī

意見・

提

案を

反

庁

)広場と緑:

の地

クンストック

民

- クショッ

プを開

テト

マ 心 利 検

設定しまし

た。

をに、

させ

な

ま

につ

しし

 $\overline{\zeta}$

|働空間の

使

しり

方

がら設計な

をとり

ま

ワ

プロビー

利

てこ

の

検

を

も

۲

を

中 が

参

加者

自らが

次

て 検

も

5 原 検 を

いまし

た。

そ

し

利用する機会の多い区検討原案」をもとに、

る 成

討

案 討の 開

を設

計者.

に

本

設

計

労労する!

に

あ

討

テレ

毎

回 十分

8

プに ように

分

な検討ができる 人以下のグルー

れて

検討を進めまし

た。

た。

初に

たたき台と

帀

民ワ

クシ

ヨッ

加構

し

て

計

6

回

開

催

さ

れ 人が

ま

討

方法

成され、

毎

回

60 S

80

る旧 あ 近 市民 隣にお住まい 検 市 討 委員、 に 参加 これ 庁舎建設| し た経験 ഗ ま でに 方等 新

で の 用

備

蕳

の全体構

成

新

厅 しし

舎の

検

討

ത

経験や提

提

内 容

なども

樣

々で

にな検討がに

行

れ

ま

市

!庁舎へ 民協

の

いアクセ

スと周

コスト 市 三民利用スペ 能

-対策、

環 - 1

境対 スの

策

など

が、

始和

やかな雰囲

気で

検 す

市

良り

クシ

゚ョッ

プ

を

・ロビー内にも緑を配置。 ・メイン・サブエントランス近傍にベビーカー設置スペースを確保。・障がい者に限らず、誰にも利用しやすいようにユニバーサルデザインに配慮した待合いとする。

- 利用者の最も多い1階北側に2つ配置。
- 個室の相談室を必要数設置。 ・エスカレーターを設置。
- ・ 1 , 2 階のみんなのトイレに簡易型折りたたみ式大人用介護ベッドを設置。



・市民協働空間に隣接して設置。



コンシェルジュをメインエントランスにも配置。 ・コンシェルジュカウンターを楕円で計画。



- 可動間仕切りで部屋を区切れるように計画。



- - 極力自然光を利用する計画。 ・南側の執務スペースに中庭を設ける。
 - 適正なメンテナンスを行うことで100年もつ建物となるよう計画。 太陽光発雷パネルを設置。

年 には、

後

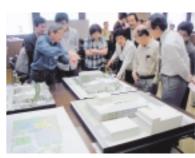


グループ討議の様子

討が進 設 市 ま 換 り 事例検討な 模型を使っ が行われる た め 容 庁舎建: 5 ات 直 η などを ま 接 た検 設用 結 び た。 極 うく具 通 討 地 的 し の な 見 意 て 見



建設用地見学の様子



模型を使った検討の様子

計に反映さ 案を とうござ た。 いただき、その多くを設たくさんのご意見・ご提 参加者の皆さんありが いました。 せることができま

∞709・0593 問い合わせ先

Q、現庁舎の跡地はどうなるのですか?
A、具体的な利用方法につたいとともに、2008年など)とともに、2008年から具体的な利用方法が決まっていない他の公共施設の跡地でがら具体的な利用方法が決まっていない他の公共施設の跡ですか? A. 交通管理者である警察に も相談しながら、周辺道路に できるだけ負荷がかからない す。具体的には、敷地周辺道 す。具体的には、敷地周辺道 は、対策を検討していま ように対策を検討していま ように対策を検討していま ように対策を検討していま

への影響は? Q、新庁舎の建設による交通

覧下さい。) 覧下さい。) を場合ことができます。(詳しくは第3面をごます。(詳しくは第3面をごます。とができます。とができます。とができます。

り、ガラス張りで、大きなア いぶんかかるのではないです か?

Q、**豪華な庁舎になるので**A. 機能面を重視した簡素な使用している机や椅子、什器
するなど、経費の節減に努
のます。
のます。

ついて、お答えします。んから寄せられた主な質問にこれまでの検討の中で皆さ